

# 歯周組織再生剤リグロス®の薬理作用と適応について

村上伸也 (大阪大学 大学院歯学研究科歯周病分子病態学教授)

3月度生涯  
研修講座抄録

歯根膜中に存在する「歯周組織幹細胞」を適に活性化することにより、歯周病の進行により失われた歯周組織の再生を誘導することが臨床的に可能であると考えられている。我々の研究室では、強力な血管新生作用と間葉系細胞の増殖誘導能を有する塩基性線維芽細胞増殖因子 (FGF-2) を歯周外科時に歯周組織欠損部に局所投与することにより同組織の再生を誘導・促進しようとする、新規歯周組織再生療法の開発に取り組んできた。そして、2001年よりFGF-2の歯周組織再生誘導効果と安全性の検討を目的として第Ⅱ相および第Ⅲ相臨床試験が実施された。その結果、0.3% FGF-2製剤 (リグロス®) を歯周外科時に局所投与することにより、9カ月後に有意な歯槽骨新生が誘導されることが確認された。さらに、先行承認されているエナメルマトリクスタンパク (EMD) との非劣性試験を行ったところ、歯槽骨の新量に關し、EMDに比しFGF-2製剤の非劣性が示されると共に、優越性も示された。また、これら試験期間中に安全性上問題になるような事例は認められなかった。さらに、探索的Ⅱ相臨床床試験施行後、約8年間の後向き観察研究を行った結果、0.3% FGF-2製剤 (リグロス®) の投与が通常のフリップ手術単独と比較して再治療等のイベント発生までの期間を延長させることが示された。以上の結果より、FGF-2製剤の歯周組織再生効果が明確に示され、同製剤は歯科医師の管理下で安全に使用できるものと判断された。また、今回の講演では、世界初の歯周組織再生剤として承認されたFGF-2製剤 (リグロス®) が切り開く歯周組織再生療法の近未来を、先生方と共に俯瞰したいと考えている。

※本講習会受講者は、リグロス®購入前に必要なe-learningの受講が免除されます。

## 利益至上主義の帰結

佐々木昭三 (労働運動総合研究所常任理事)



**大企業の不祥事**  
日産、スバルの無資格者による完成車検査や神戸製鋼の検査データの改ざん、三菱マテリアル、東レなど大手製造業によるルール無視の不正行為が次々と発覚し、日本のものづくりが揺らいでいる。これは大企業が高収益を上げ、株価を上げることを最優先して、「安全より利益」、「信頼より成果」の経営体質が生み出したものである。それは製造現場ですすめられている徹底したコスト削減と人員削減、納期絶対死守、生産性向上とリストラ「合理化」、雇用の正規雇用から非正規化、成果・評価主義への賃金体系と労務管理、業務の下請・委託・外注化が、「安心・安全な高品質なものづくり」の基盤を崩し弱体化させてきたのである。この経営政策が、安全で高品質の製品づくりのゆらぎと労働者の心身の健康、仕事のやりがい等を脅かす事態を引き起こしている。

**「日本の経営」と現在の「新日本の経営」路線**  
これまでの日本の高品質なものづくりの要因に、安定した雇用 (正規雇用)、生活できる賃金 (年功型賃金)、信頼ある安定した労使関係が問題を含みながら「日本の経営」として経営の基盤とされてきた。それが、90年代半ば以降、多国籍化を加速した大企業・財界は、労働法制の改悪など政治の後押しを受け、利益最優先の新自由主義的な「新日本の経営」路



線への転換を推し進めてきた。一連の不正、ルール無視の問題の大半には、「新日本の経営」によって強行された賃金の切り下げ・人員削減 (総人件費削減)、雇用の非正規化、下請関連企業の切り捨てと再編政策があり、それを推し進める大企業最優先財政の政治により、日本の経営政策が変容させられたことがこの問題の大本にある。

**安全高品質のものづくりと企業の社会的責任**  
安全高品質のものづくりには、企業の社会的責任として、それを最優先した経営政策と企業体質改善が必要であり、それは労働者を大切に、関連下請企業を守り、地域経済・国民経済に責任をもつことである。そのため、労働者の賃金・労働条件の改善、人員増、非正規雇用労働者の正規化や均等待遇、関連下請企業・業者への仕事確保と安定した単価・価格を保障し、経営の改善・安定をはかるべきである。このことが、安全高品質のものづくりと国民の信頼、国際的な信用を確保し、確実な道であり、内需拡大、地域経済・国民経済を成長に導く。大企業にはその財源・原資は、ため込んだ利益・内部留保・資産があり、これを社会的に還元する。また、今政治に求められるのは、大企業にその社会的責任を果たせるために政治的指導性を発揮する国民本位の政治の実現である。

**見えぬ自浄能力**  
東レ株式会社検査偽装  
タイ部門1年以上非公表  
経団連会長出身企業でも  
照合されず  
徹底  
核心

## どうなるAI? 人工知能の未来

「LAWが使われれば防衛は難しい。その点で生物・化学兵器と似ている。人間の意思に反して、戦争を拡大してしま

う恐れもある。いま開発を食い止める必要はない」  
AIによるロボット兵器は、自ら敵を見つけ出し、攻撃するのが特徴。自律型致死性兵器と呼ばれるゆえんだ。米露英中のほか、イスラエルなども開発を進めていて、ごく近い未来に実用化されるとみられている。

そうした中、ロボット兵器が敵を探して戦場を動き回るような破滅的世界を避けるための議論が始まっている。国連は今年、特定通常兵器使用禁止制限条約 (CCW) の専門家会議を開催し、人工知能 (AI) を組み込んだロボット兵器の規制についての議論を開始。各国のAI開発者も今年2月、「破滅的な自動兵器による軍備の拡大競争を避けるべきだ」という提言を盛り込んだ安全方イデオロギ (アシロマAI23原則) を発表した。

**なくせ！原発 再稼働はんたい！ おおさか大集会**  
3/10 (土) 13時半～16時  
エルおおさか2階エルシアター  
講演と交流「福島のみもと原発住民運動の課題」  
伊東達也氏 (原発問題住民運動全国連絡会 センター筆頭代表委員)  
主催 原発ゼロの会・大阪 問い合わせは協会まで

### 協会行事案内

3月度生涯研修  
**歯周組織再生剤リグロス®の薬理作用と適応について**  
日時 3月11日 (日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール 定員 1000人  
講師 村上伸也氏 (大阪大学大学院歯学研究科歯周病分子病態学教室教授)  
会費 会員3千円、未入会者1万円  
※本講習会受講者は、リグロス®購入前に必要なe-learningの受講が免除されます。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です  
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

「確定申告個別相談会」事前予約制  
期間 2月28日 (水)～3月13日 (火)  
時間帯 一人につき2時間 ①10時～②13時～③15時～  
会場 保険医会館3階  
担当 協会医業税理士団税理士  
会費 原則2万円 (医業以外の所得や複数人数分のご相談は別途費用)  
※医業以外の所得 (譲渡等) がある場合は、予約時に必ずお申し出ください。

2月度生涯研修  
診療所での義歯改造とこれからの在宅診療  
日時 2月18日 (日) 午前10時～午後1時  
会場 M&Dホール 定員 1000人  
講師 大谷学氏 (東大阪市開業)  
会費 会員3千円、未入会者1万円

確定申告対策講習会 (医科・歯科共催)  
確定申告のポイント・税制の改正点と医業税制  
日時 2月24日 (土) 午後3時～5時  
会場 保険医会館5階 定員 50人  
講師 伊藤幸子税理士 (協会医業税理士団)  
会費 会員・家族無料、未入会者1万円

北河内地区講習会  
不良症例から学ぶインプラント治療  
日時 2月24日 (土) 午後6時30分～8時  
会場 ドーンセンター4階 (京阪・地下鉄谷町線「天満橋」駅から徒歩5分)  
講師 井上雅裕氏 (北区開業)  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 40人

三島地区総会記念講習会  
診療報酬・介護報酬改定の動向  
日時 2月25日 (日) 午前10時30分～正午  
会場 高槻市生涯学習センター3階 (高槻市役所北隣り)  
講師 社保研究部講師団 定員 30人  
会費 会員無料、未入会者1万円